



学びの庭

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、
児童一人一人のよさと可能性を伸ばす。

〒400-0814 山梨県甲府市上阿原町491番地 電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451 E-mail: tamamoro-e@es-jhs.kai.ed.jp

創立 明治5年
1872年

令和5年(2023年)12月25日

発行責任者 校長 山本英寿

実り多い2学期終了

80日間にわたる2学期が明日で終わります。熱中症が心配された厳しい残暑の8月から、凍てつく寒さの12月までの4か月。長いようですが、振り返ると一日一日が充実しており、短く感じる2学期でした。全校で気持ちを合わせて取り組んだ秋季大運動会、楽しい思い出がたくさんできた秋の校外学習、自己記録に挑戦した陸上記録会など、大きな学校行事だけでも数多くありました。子供たちは、それぞれの行事に全力で取り組み、一つ一つの行事を終えるたびに大きくたくましく成長してきました。ご家庭でも、この1年を振り返るとともに、子供たちの2学期の生活面、学習面の成長ぶりをぜひ振り返っていただければと思います。

保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、実り多い充実した2学期となりました。ありがとうございます。子供たちのさらなる成長のため、来年もご家庭とさらに力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。年末から年始へ、お体には十分に気を付けられ、皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

冬休みにしかできない貴重な体験を

いよいよ冬休みが始まります。冬休みは日数こそ少ないですが、年末年始の中身の濃い時期です。家族をはじめ親類や地域の方々とふれあい、歳末や新年独特の雰囲気を実感できる時期でもあります。さらに、家族の一員として家事の分担やお手伝いをしたり、年賀状づくりをしたり、地域の行事へ参加したりすることを通して、人と人とのつながりを意識してほしいと思ひています。この冬休みを「生きた学習の場」とするために、ぜひ、ご家庭で冬休みにしかできない貴重な体験をさせてください。



お手伝いで「役立つ自分」を

年末年始、ぜひ子供たちには、たくさんのお手伝いをさせてください。子供は人のために役立つ経験をすることで、自己有用感が高まり自信がつきます。低学年の子供たちでも「役立つ自分」を感じられます。それが積極的に物事に取り組むことにつながります。また、自分も家族や地域、友達など周囲の人に支えられていることに気付き、人の大切さやありがたさを感じるようになります。そして、子供たちが一生懸命お手伝いをして

くれた時には、「あなたがいてくれて本当に助かった。ありがとう。」という感謝の気持ちを言葉にして伝えてください。



古きよきもの(伝統行事)を

年末年始はさまざまな風習、伝統行事があります。この機会を生かし、学習することも大切だと思います。例えば、おせち料理です。八つ頭は人の頭に立つように、黒豆はまめまめしく一年丈夫に働けるように、昆布は、慶びを表し、数の子は子孫繁栄、海老は腰が曲がるまで長生きができるように、伊達巻きは、金運アップなど……。正月には、このような意味を教えながら食べてはいかがでしょうか。



健康、安全に過ごすために

子供たちには、健康や安全に注意することについて学年に応じて学級担任を通して指導しました。お年玉などで多額のお金を持ち歩き、犯罪に巻き込まれることも心配されます。危ないと思う所へは近づかないことや、交通安全に気を付けること、スマホやインターネットの使用のルールなど、改めてご指導ください。また、個別懇談でお渡しした「有意義な冬休みを過ごすために」、児童会からの「冬休みの生活の決まり」を再度ご確認ください。

校内研究～授業改善の取組～



本校では、「論理的思考力」を育てるために、「動き出したくなる課題」、「確かな発問」、「振り返り」、「ICTの効果的活用」の4つに視点をあて、校内研究に取り組んでいます。2学期は、低学年ブロック・中学年ブロック・高学年ブロックの3つの学年で研究授業を行いました。授業の中で、子供たちが理由や根拠をもとに自分の考えをもち、自分の言葉でのびのびと発言する姿が多く見られました。また、友達の意見や考えのよさに気付いたり、考え方を比較しながら自分の考えをさらに広げ、深めています。放課後は、外部講師の先生から指導・助言を頂きながら、反省点や改善点なども話し合います。児童にとって良かったところや有効な手立てについては職員みんなで共有し、次の授業に生かしていくようにしています。

■ 5年4組 国語「よりよい学校生活のために」田中聡明教諭

甲府市学力向上専門員の加賀美猛先生をお招きし、研究授業を行いました。今回の授業では、日常生活の中から学校生活の課題点を挙げ、互いの立場や意図を明確にしなが課題解決について話し合い、考えを広げたりまとめたりしました。話し合いでは、思考ツール「座標軸」を活用し、それぞれの考えを関係付けたり、分類したりして、解決の方法についてまとめることができました。



■ 1年3組 算数「ひき算」降矢万由子教諭

湯田小学校の一瀬孝仁校長先生をお招きし、研究授業を行いました。今回の授業では、 $13 - 9$ の計算の仕方について、ブロックの操作や図、言葉を用いながら考えました。子供たちは、「10といくつ」という数の見方に着目し、10のまとまりからまとめて9をとり、残った1と3を合わせると答えを求められることができると説明することができました。



■ 4年2組 算数「計算のやくそくを調べよう」福田雅也教諭

山梨大学の角田大輔先生をお招きし、研究授業を行いました。今回の授業では、ICTを活用(Jamboard)し、ドットの数の求め方を考えました。子供たちは、同じ数のまとまりを線で囲みながら式を立てたり、友達が考えた図や式から、その考え方を読み取ったりしました。「式は算数・数学の言葉である」ことを実感した授業でした。



新児童会役員が決まりました



11月29日(水)に児童会役員選挙の立会演説会、投開票を行いました。来年度の児童会長、副会長を決める選挙です。立候補できる5年生の各クラスから会長と副会長、同じく4年生の各クラスからは副会長の候補者が立候補しました。選挙権は3～6年生全員にあります。今年は、インフルエンザ感染予防のため、選挙運動としてのクラスめぐりはできませんでしたが、給食の時間に事前に録画したビデオを放映したり、選挙公報を発行したりして選挙運動を工夫しました。



立会演説会の様子

立会演説会では、「あたりまえのことがあたりまえにできる学校」「明るく笑顔あふれる学校」「優しさ、笑顔、やる気あふれる学校」「毎日最高！全校児童の笑顔があふれるいじめのない学校」など、それぞれの候補者が玉諸小をよりよくするための活動を訴えました。体育館での立会演説会の後、投開票を行い、来年度の児童会本部の体制が整いました。新児童会本部を先頭に、高学年全員で、よりよい玉諸小をめざして、全校をリードしていただけることを期待します。

玉諸小ブログ2023や
学校だよりのHP版
をご覧ください。



